

# ベトナム子ども基金通信

No.81  
2022.8.16



青葉奨学金支給式 ヨン・オン・トー中学校

私は今年の1月に76歳になりました。ちょうど1964年、東京オリンピックの年に高校を卒業し、翌年19歳で南米アルゼンチンに移住しました。同級生は皆進学しましたが、貧しかった我が家ではとても大学には進めませんでした。この貧乏、学歴コンプレックスが強い動機となって無謀と思える南米移住に走らせたのです。最後の移民船アルゼンチナ丸に乗船し、45日間の長い航海の末、到着した南米の大地は持っていた理想と直面する現実の大きなギャップを体にしみ込ませてくれました。こうして次から次へと襲いかかる困難に向かいながら一步一步前進しました。7年間の長い生活で結局残ったのは帰りの片道切符だけでしたが「経験、人間性」という貴重な宝物を残してくれました。

32年前に家族をメキシコに残し単身帰国しましたが、実に運よく中学の友人の紹介で現在の仕事を知り、小さな会社を設立することができました。本当にさまざまな出来事がありましたが、どんな場合でも逃げずに闘ってきました。そのおかげで今は息子も私の仕事を継いでく

れ、孫とも一緒に生活しております。

私たち人間は生かされているのです。私たちはいったいどこから来たのでしょうか？ 誰が人間を作ったのでしょうか？ 私たちはいったい何をすれば良いのでしょうか？

私たちはそれぞれ皆異なった運命を持っています。大切なことは、その描かれたシナリオに沿って一生懸命、真面目に生き抜くことが最も大事なのではないでしょうか。このことが我々人間に課せられた「義務、責任」と確信します。そして大事なことは、「人を敬う優しい心」です。世界中の人が皆この心を持つことができれば、永久の平和につながります。

5年前にベトナムに旅行しました。何てオートバイが多いのか、よくぞ事故が起こらないものだ、と驚愕きょうがくしました。同時に若い人の多いこと、それにも増して町中に活気がみなぎっていることに圧倒されました。この力があれば、近い将来この国は大きな発展を遂げるでしょう。正に未来の国です。

(川島正仁)

## 奨学金支給のご報告 ～さらに心の通う支援を～

日頃からベトナムの貧困家庭の子どもたちの教育を支えてくださり、心より感謝申し上げます。

学年度 2021-2022 年度（2021 年 9 月～ 2022 年 8 月）の奨学金支給式が、コロナ感染に気をつけながら、順番に行われています。

私たちのカウンターパート（協力先）であるベトナム青葉奨学会が、学校の先生方との連携を今まで以上に強化するため、この学年度から、子どもの支援地域を絞ることになり、それに合わせて、ベトナム子ども基金の里親基金・黄梅基金等の支援地域も変更になりました。変更後の、現時点の支援地域は、以下の通りです。

- ・青葉奨学金

北部：フート省、中部：クアンナム省、南部：ロンアン省、タイニン省 ホーチミン市

- ・黄梅奨学金

中部：クアンナム省 南部：ロンアン省、バリア・ブンタウ省、ドンタップ省 ホーチミン市

支援地域の変更により、里子の支援が終了してしまう里親の方々もおられ、大変心苦しく思っておりましたが、多くの方々が新しい地域の里子の支援を始めてくださりました。また、ベトナム子ども基金への励ましのメッセージもたくさん頂戴し、<sup>あんど</sup>安堵いたしました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

変更後の支援地域は、ホーチミン市近郊、ベトナム南部が中心で、北部や中部は条件の合う地域のみとなりました。南部に比べて貧困率の高い北部や中部にこそ、より支援が必要ではないかと思われる方もおられるかもしれません。青葉奨学会の皆さんも、そのことはよく分かっています。

青葉奨学会では、奨学金を渡す際に、子どもたちと交流し、毎年面談を行い、励まし応援する機会を大切にしてきました。中部や北部など遠方では現地の教育委員会にそれを任せてきましたが、ここ数年、ベトナムの経済発展に伴い、青葉奨学会のような手間のかかる奨学金は後回しにされるようになってしまいました。

子どもたちと交流が持てないままお金だけを渡しても、子どもたちの真の教育支援につながらない、子どもたちに真の希望は生まれないと強い信念から、今回思い切って、青葉奨学会が拠点を置く南部の貧困家庭に力を入れることになりました。

ベトナム子ども基金の活動が始まった 1995 年から、ベトナムの経済は飛躍的に発展しましたが、貧富の差はむしろ広がりました。経済発展から取り残された家庭の子どもたちは、これまで以上に貧困の連鎖から抜け出しにくく、希望を持ちにくい環境に置かれています。

コロナの影響もあり、支援が必要な子どもたちがたくさん待っています。ぜひ、皆さまとご一緒に子どもたちが教育を受け、明るい未来に羽ばたいていく応援をしていきたいと思っています。

# 青葉奨学金 奨学金授与式のご報告

2022年4月16日 ロンアン省 ドゥック・ホア高校 / フー・ティン小学校

2022年4月16日、ロンアン省のドゥック・ホア高校及びフー・ティン小学校で、2021-2022年度第1回青葉奨学金授与式が行われました。

ドゥック・ホア高校には、ドゥックホア郡の4つの高校から奨学生36名が集まり、ドゥック・ホア高校校長及び副校長、各校の教職員の方々、青葉奨学会スタッフ、元奨学生で、ベトナム大手スーパー勤務のヒエンさんが参加しました。(※通信78号をご覧ください)

式は、ドゥック・ホア高校副校長のあいさつ、ベトナムの伝統的な団体戦ミニゲーム、授与式、学生代表スピーチの順で約1時間行われました。学生を代表して、10年間継続して奨学金を給付されている高校3年生のグエン・ティ・カム・ティエンさんが、家計が厳しい自分にとって奨学金が勉学の励みになっていて、今後も一生懸命勉強すると強い意志をスピーチしてくれました。

フー・ティン小学校では、1年生から5年生までの14名の奨学生、フー・ティン小学校校長及び副校長、教職員の方々が参加しました。フー・ティン小学校の校舎は、

2007年にベトナム子ども基金の会員である松原好直・美知子ご夫妻により建設されました。当時の写真とともに、この地域がいかに貧しく、学校を必要としていたか校長先生から説明を受けました。

また、今でも貧しい学生が多く、ホーチミン市に進学しても学費が足りない卒業生が多いというお話がありました。これに対し、ヒエンさんから「スーパーでは随時アルバイトを募集しており、ホーチミン市でアルバイトを探している学生がいたらぜひ力になりたい」との提案があり、和やかな雰囲気となりました。

授与式の前に校庭に出てミニゲームを行いました。新型コロナウイルスの影響による長期社会的隔離とオンライン授業の影響で、子どもたち同士打ち解けるのに時間を要していました。その後、教室に集まった奨学生は、廊下から保護者が見守る中、順に奨学金を受け取りました。学生代表のスピーチはありませんでしたが、彼らの胸の中にある夢が育つことを願い、会場を後にしました。

元ドンズー日本語学校教師 牧野友紀



ドゥック・ホア高校



フー・ティン小学校

# 青葉奨学金 支給式

## ■ 2022年4月5日(1回目)

<ホーチミン市> グエン・ヴィエト・スアン小学校  
(支給人数) 26人

(支給金額) 1560万ドン

(感想) 緑が多くて、ちょっと古くて、大きい校庭で、きれいな学校です。生徒は親切です。



教室に入るため  
列に並びます



奨学金支給式の様子

## ■ 2022年4月13日(1回目)

<ホーチミン市> チャン・クオック・トアン小学校  
(支給人数) 8人 (支給金額) 480万ドン



学生はゲームをしています

(感想) 学校は小さくて、教室も小さいですが、とてもきれいです。校庭は小さいのに、遊び場がなくて、ランチタイムに食堂のように使えます。校庭は屋根で覆われているので、雨が降っても心配いりません。



ランチタイムの校庭

## ■ 2022年4月16日(1回目)

<ホーチミン市> ヨン・オン・トー小学校  
(支給人数) 28人 (支給金額) 1680万ドン

(感想) 子どもたちは善良で、従順で、頭がいいです。学校は大きくて、遊び場は広くて、食堂がないので、子どもたちはランチタイムに自由に座ります。トゥー・ドゥック市に永住している子どものための学校です。



学生たちはゲームをしています



ヨン・オン・トー小学校の校庭

■ 2022年4月26日(1回目)

<ホーチミン市> タイン・ミー・ロイ中学校

(支給人数) 22人(青葉奨学金2人)

(支給金額) 1170万ドン

(感想) 校舎は小さくて、初めて建てたときから今まで修理していなくて、古い学校です。一時滞在の子どもたちが進学する学校です。小さくて、遊び場がありません。中学生なのに、背が高なくて、小学生のように見える子もいます。



学生はゲームをしています



支給式の様子

■ 2022年5月5日(1回目)

<ホーチミン市> ビン・チュン・ドン小学校

(支給人数) 21人(支給金額) 1260万ドン

(感想) 新設の学校です。一時滞在の子どもたちの学校なので、両親が他の所に転動したら、生徒たちも転校します。施設は足りていて、校庭は広いです。



校庭の一角



学生は手紙を書いています

■ 2022年5月23日(1回目)

<ホーチミン市> ヨン・オン・トー中学校

(支給人数) 14人

(支給金額) 1190万ドン

(感想) 学校はちょっと古くて、校庭があまり大きくないです。ヨン・オン・トー小学校を卒業した生徒が進学する学校です。ほとんどの中学生は卒業したら、ヨン・オン・トー高校に進学しようと思います。奨学金をもらった子たちはお互いを知っているの、ゲームをしているとき、互いに助け合いました。



学生はゲームをしています



手紙を書いています

奨学金支給式 報告書 (日付は支給式の日)

■ 2022年5月23日(1回目)

<ホーチミン市> ルーン・テー・ヴィン小学校

(支給人数) 15人

(支給金額) 900万ドン

(感想) 学校は人口が少ないタンミーロイ区にあるので、永住している子どもも一時滞在の子どももいる学校です。校庭が広くて、生徒たちが従順で礼儀正しいです。

学生はゲームをしています



学生は手紙を書いています

黄梅基金 奨学金支給式

2021年度各学校は5月の初めに急いで学期終了をして休校になりました。社会隔離は9月まででそれ以降少し緩やかになりました。そしてやっとテト明けの2月になって学校が再開されることになりました。青葉奨学会の支給計画では年に2回、9月と3月でしたが、コロナ禍でなかなか直接学生に会って奨学金を手渡すことができませんでした。それで、1回目の支給が9月から3月になってしまいました。第2回目は学校の2学期目が終わる頃に支給するので5月か6月になるかもしれません。

この黄梅奨学金は日本の支援者さまからの募金を銀行に預金し、発生した預金利息が奨学金として学生に年に2回50万ドンずつ給付されています。経済的に恵まれないけれど成績がいい学生を学校の先生から推薦してもらっています。

学生には奨学金を下さった方のご厚意を教えました。知らない人でいながら遠いところからいつも学生を応援してくださっているので、学生には勉強を頑張してほしいです。

ドンズー日本語学校 副校長 ユエン

■ 2022年1月15日(1回目)と5月3日(2回目)

<バリア・ブンタウ省> ゴー・クエン高校

(支給人数) 1回目: 22人 2回目: 20人

(支給金額) 2100万ドン

(感想) この学校はダバック工業団地に近いです。学生

数は26のクラスで980人です。貧しい家に生まれて、両親に先立たれたり、両親の別居や離婚で心のバランスを失った子たちですが、一生懸命勉強に励む姿を見て、感動しました。



校庭で朝会に参加している学生さん



今年高校卒業する9人中、1人は技能実習生として日本に行くと言っていました

■2022年1月19日(1回目)と6月9日(2回目)  
 <ドンタップ省> チャン・フー小学校  
 (支給人数)10人  
 (支給金額)1000万ドン(1回ずつ500万ドン)  
 (感想)学校は再建設中なので、ほこりがたくさんあります。教室はちょっと狭くて、古いです。来年度に学校は完成予定です。本棚は他の里親からもらったそうです。小さい島に住んでいるので、生徒たちの生活は厳しく、文房具もゲームもあまりありません。学校が終わったら、家へ帰って、家事を手伝います。



チャン・フー小学校



日本語でありがとうを書きました

■2022年1月19日(1回目)と6月9日(2回目)  
 <ドンタップ省> リー・トゥオン・キエット小学校と  
 ファン・ダン・ルー小学校  
 (支給人数)20人(1つの学校のごとに10人)  
 (支給金額)2000万ドン(1回に1000万ドン)  
 (感想)リー・トゥオン・キエット小学校の図書室はまだ完全にはできていません。簡単な本棚だけです。学校の校長先生は、校舎の外に図書室を建てる予定があります。教室は11教室だけですが、クラスは12クラスなので、交互に教室を使います。生徒たちはリー・トゥオン・キエット小学校に集まってゲームをしたり、奨学金をもらいました。



リー・トゥオン・キエット小学校



ファン・ダン・ルー小学校

■2022年1月19日(1回目)と6月9日(2回目)  
 <ドンタップ省> タン・トゥオン・ドン中学校  
 (支給人数)7人(支給金額)700万ドン  
 (感想)学校はちょっと小さいです。校庭は中学生にとってとても小さいです。教室や設備などは新しいです。生徒たちはちょっと恥ずかしがり屋ですが、先生には従順です。



タン・トゥオン・ドン中学校



奨学金支給式



学生たちは日本についての本を読んでいます

■ 2022年3月5日(1回目)と6月2日(2回目)  
＜バリア・ブントウ省＞ チャウ・ティン高校  
(支給人数) 1回目:20人 2回目:17人  
(支給金額) 1850万ドン

(感想) この高校は1957年に設立され、バリア・ブントウで歴史が長い有名な学校です。今年は32のクラスがあり、学生数が1251人です。交流会でみんなの普段の生活や自分の趣味、将来の夢、進学の見路などを話し合いました。推薦された学生はほとんど家庭環境で苦労している子です。みんな家計が苦しい家庭に育っていますが、勉強意欲があります。知識が身につかないと将来性がなくて不安だと言っています。ある高校1年生は、お父さんがいなくてお母さんと住んでいます。彼女の趣味は絵を描くことですが、好きな科目は化学です。将来獣医師になることを目指して勉強しているそうです。あるいはお母さんが早くに亡くなった1年生が、憧れのお兄さんのように大学に入って自動車エンジニアになる夢を抱いています。そして日本語を学んでいる子たちもいるので、日本留学を選んでくれればと思います。

■ 2022年5月20日(1回目)  
＜ホーチミン市＞ グエン・ヴァン・チョイ中学校  
(支給人数) 20人  
(支給金額) 1000万ドン

(感想) ちょっと小さくて、古い学校です。グエン・ヴァン・チョイ小学校とピン・チュン・ドン小学校を卒業した生徒が進学する学校です。生徒たちは熱心で、親切です。



学生はゲームをしています



チャウ・ティン高校



奨学金支給式



# ヴォン・レン奨学生 活動記録

## 3月の活動

先週の日曜日、3月27日は、パンデミックのために11か月の「冬眠」の後、ヴォン・レン基金が再開された日でした。学生たちは、活動中止期間中の学習、活動、読書についてレポートを送り、教師が簡単にコメントしました。バオ・トアンは「ユダヤ人の知恵」という本について話しました、クアン・ズイは「全ての職業の人々、IT業界は何があるか?」、そしてクォック・ヴィエットとホアイ・ナムは「忙しい人々のための瞑想」について話しました。



## 4月の活動



グエン先生がCovid-19について、そしてロシア・ウクライナ戦争が私たちの国の社会生活にどのように影響したかについて話しました。世界はフラットで、どこで起こった出来事も各個人に影響を及ぼします。猛威を振るうパンデミック、ロシア・ウクライナ戦争は、世界中のサプライチェーンを混乱させました。この期間中、全て

の国の経済は深刻な影響を受けました。学生たちは仕事を見つけるのが難しくなるでしょう。だから、この世界での地位を獲得するために、「自分の夢を守り、自分自身を訓練し、もっともっと優秀になるようにしてください」と励ましを受けました。

## 5月の活動

ドンズー日本語学校のK1の漢字クラスとヴォン・レン奨学金を受け取っている学生が共に授業をしました。ヴォン・レン奨学生はとても一生懸命勉強と生活に取り組んでいます。勉強に励み、将来成功することを願っています。



## 6月の活動

今月学生は、期末テスト、卒論の研究をしながら、奨学会へのレポート、本の発表準備を頑張っていました。最初の2時間、6人の奨学生は読んだ本について発表し、みんなと良いポイント、学んだポイントなどを討論しました。あとの2時間、稲盛和夫氏の成功方法（人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力）について、グループディスカッションを行いました。みんなはこの方法の各要素について積極的にディスカッションし、理解したことを発表しました。全員は環境も重要な要素だとの意見を出しました。みんなは考え方が一番重要だと認識しています。次回もこの方法について、あらためて討論し、理解を深める予定です。

## コロナ禍で頑張る里子たち ①

# Covid-19 下での食事提供のボランティア活動

元里子のダンちゃんが、Covid-19によるロックダウンのホーチミンで Com Am Long（心温まるごはん）という、困窮者に食事を配るボランティア活動を始めた、と日本に住む妹のナムちゃんに聞きました。ナムちゃんに手伝ってもらって Com Am Long の活動についてメールで問い合わせしました。以下、ダンちゃんによる Com Am Long の活動報告です。

### Com Am Long の活動を始めるきっかけ

Com Am Long は困っている人たちを助けるボランティア活動として始まりました。活動にはサイゴン（ホーチミン市）のいろいろな職種の社会人が参加しています。2021年6月から11月にかけて、サイゴンは Covid-19 によって深刻な被害を受け、17,000人以上の命が失われました。サイゴンの完全ロックダウンは、多くの人々に食料難を引き起こしました。特にホームレスや地方から働きに来ている人たちは、仕事を失い、いつ状況が好転するかも分かりませんでした。病院は毎日 Covid-19 の患者で満杯になり、ロックダウンによって食料供給網が寸断され、医療従事者も患者も十分な食料を手に入れることができませんでした。

### Com Am Long の活動内容

私たちは7月からビンタイン地区で最初のキッチンを開

始め、最も困難な状況に陥っているホームレスの人々に200食の食事を毎日提供しました。資金は高校時代の友人とその家族からの寄付でまかない、日々の調理は、かつて自分のレストランを経営していたものの、ロックダウンにより一時的に職を失っていたシェフたちがボランティアで行ってくれました。8月から10月には、サイゴンのさまざまな地区（2区、7区、トゥードック、ビンタイン、フーニャン、ゴーパープ）に計6カ所のキッチンを設け、規模を拡大しました。調理ボランティアのスタッフは、ロックダウンによって家にいることを余儀なくされた元シェフや元レストラン経営者から教師、会社経営者など多岐にわたりました。食事提供の相手もホームレスの人たちだけではなく病院の医師や患者、経済的困難な状況にある家族などに範囲を広げました。7月から10月までに、私たちは2,000食のお弁当と25,000食の食料パッケージを必要とする人たちに提供しました。



● お弁当おいしそう！



● 医療従事者に渡す



● 郊外へ食料パッケージを配る



● お弁当を配る



● 食料パッケージを配る

### 活動をしていてうれしかったこと

私たちの活動に対して、全国各地、また海外からも多大な愛と援助を受け取りました。見知らぬ人たちからサイゴンへの愛を伝えるメッセージや食料のトラックが毎週届き、ダラットの山からは野菜のトラック、ファンティエットの海からは魚のトラックが届きました。愛の輪は、さまざまな立場の私たちを結びつけてくれました。私たちは寛容さ、分かち合い、隣人を無条件に愛することについて学びました。私たちは、医師、警察官、運転手、芸術家、専門家など、普段には接する機会の少ない、社会のあらゆる職業の人たちと一緒に活動しました。誰もが自分の肩書きや職業をいったん脇に置き、街の痛みを和らげるために料理人、配達員、ヘルパーになり、困っている人々に可能な限り食べ物と安らぎを提供したのです。

### その後の Com Am Long の活動

2021年11月にロックダウンが終わり、食事提供は停止しました。状況が正常化した後、私たちはサイゴンの他のボランティアとチームを組み、ベトナムのできるだけ多くの地域、特に子どもたちに喜びと援助をもたらすことを目的として、毎月慈善活動を続けています。



● 子どもに配る

レー・チョン・トゥイ・ダンさん

1985年生まれ。1996年から2002年まで青葉奨学生。高校卒業後、奨学金を得てシンガポールへ留学。Nanyang Technological University 卒。現在ホーチミン在住。

私が初めてダンちゃんに会ったのは、9月から中学生になるという1996年8月。とても恥ずかしがり屋でお母さんの陰に隠れていました。今回質問事項をベトナム語に翻訳してダンちゃんに送ってくれた妹のナムちゃんは5歳くらいで、お母さんの膝の上のっけていました。

一時期ダンちゃんが海外で暮らしていたこともあり、交流は中断していましたが、ダンちゃんがホーチミンに戻ってきてからは、Facebookを通じてお互いの近況は知っています。近年は、私がベトナムに行くと、ダンちゃんははよりのレストランで食事をごちそうしてくれます。妹のナムちゃんは大学で日本語を学び、今は日本に住んでいます。

ダンちゃんは私の質問に対して英語で返信をくれました。原文にサイゴンとあったので、そのままにして文章にしました。



(里親会員・今井幸恵)

## コロナ禍で頑張る里子たち ②

# ゲン・テイ・トゥイ・ティエンさん

日本に留学後、現在日本の特別養護老人ホームに勤務。

令和2年に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として配布された特別定額給付金10万円を、ご自身が奨学金をもらい励みになった経験から、ベトナムで貧困にもかかわらずコロナに負けず頑張っている子どもたちのために使ってほしいと、ベトナム子ども基金に寄付をしてくださった。

## 縁

**小**さい頃から毎日姉と一緒に牛を野原に連れていっていた。母親は稲刈りの日雇い仕事をし、私と姉を育てていた。どんなに大変でも一人で乗り越え、大変なことを全部自分で抱え、子供に絶対にやらせてなかった偉い母親である。私は12歳になった際、「どうしよう、公立学校に入れなかったら。母は今より何倍も大変になってしまう」とずっと悩んでいた。

**母**の弟は数学教師なので、叔父さんに勉強を教えてもらおうと思っていた。母に悩んでいることを話し、納得してもらった。そして、私は母と姉の元を離れ一人で叔父さんのところへ引っ越していった。

元奨学生のティエンさん



専門学校の卒業式



**ご**縁があり、ベトナム青葉奨学会を紹介され、中学校から高校卒業まで毎年学費を負担していただき、本当に助かっていた。心から感謝している。高校を卒業するときに、早めに母を助けるため、日本へ留学することを決めた。日本で勉強しながらアルバイトをし、生活費と学費等は自分で払っていた。大変な時期だったが、自分は成長できたと考えている。

**い**ろんなアルバイトをしていたとき、自分の性格を理解することができた。自分にとっては介護の仕事が一番合うかなと思っていたので、日本語学校卒業後、介護専門学校に入学した。授業はほぼ毎日、9時から16時15分まであり、終わったら急がないとアルバイトに間に合わなくなるから、いつも焦っていた。授業中に「何で専門学校なのにこんな難しいことを勉強しないといけないの？ この漢字は何、全然読めない」とストレスを感じていたが、学校の先生はとても親切で優しく、私が理解するまで怒らず丁寧に教えてくれた。やっぱり縁があるから先生たちと出会えたかなと思っている。



家族

**現**在は特別養護老人ホームで働いている。毎日高齢者と楽しく話したり、レクリエーションをしたりしている。認知症の方の世界も理解できた。仕事に面白いことを見つけていた。もし誰かに怒られ、縁を切りたと思ったとき、その方の寝顔をこっそり見ると、とても可愛くて面白いから嫌なことが忘れられる。私は利用者を自分の祖父母と思いながら、心で世話をしている。これからも介護士として仕事を頑張りつつ、次の目標は看護師の勉強をすることである。10年後にベトナムに帰国し、老人ホームを作ろうと考えている。縁があり、これまでも多くの方と出会えたため、これからも出会った人との縁を大切にしたいと思っている。

**最**後に、これまで多くのベトナム人学生を支援してくださったことの感謝を申し上げます。ホウエ先生をはじめ、青葉奨学会の皆さまのますますのご活躍とご健康を祈念いたします。

空手をします





## トナムからの 手紙

### 不幸な境遇でも 力が持てる



ゲン・ティ・フィン・ニュー

今日、奨学金を受け取りました。とてもうれしくて幸せです。里親さまにお礼を言うためにこの手紙を書きました。この奨学金は、学校へ行き、教室で学ぶエネルギーとチャンスを増やしてくれます。

人々が、「それぞれの木にはそれぞれの花があり、それぞれの家庭にはそれぞれの境遇がある」というのは本当に正しいです。この奨学金を知ったときは、自分の運命や不幸な境遇であっても人生にとっても大きな力が持てると思ったときです。

私自身もそうです。母は私が小学1年生を終えたときに亡くなりました。母がいなくなったことは、私の人生で一番大きな喪失です。父は、脳卒中を患っています。今は、母方の祖父母と生活しています。元々口数が少ないので、私はあまり祖父母と話しません。しかし、心の中で、私は祖父母は素晴らしい人と思っています。祖母は、私が10カ月のときから今まで私を育ててくれます。祖父は、いつもそばにいて、明るい将来が来るように頑張って勉強しなさいと励ましてくれます。祖父母のこの献身を理解しているので、私はいつも頑張って勉強しています。

しかし、人生において全てを奪い去られるということはないというの

は本当ですね。不幸なこの運命の横には、皆さんのような仁愛があるのです。お仕事がお忙しいにもかかわらず、皆さんは私たちのような学生たちに心を寄せ、意義深い贈り物を下さいました。私も、将来皆さんと同じように、あまり幸運でない境遇の人たちを支援したいです。

私は、とても感動し、皆さんに感謝しています！ この奨学金は、10年間私とともにいてくださいました。そして、たくさん私の勉強を助け、このおかげで自分自身と自分の将来を信じることができました。私たちを支援してくださる皆さんを裏切らないように、私はこれからも力の限り頑張って勉強し、悲しみを行動に変えます。

手紙の終わりに、貧しくても頑張る学生たちを支援する奨学会の皆さんへごあいさつします。この奨学会がますます成功し、幸運ではない境遇の人たちが、この人生で力をみなぎらせることができるように、いつも共にいてくださることを願っています。

どうもありがとうございます。

### 画家になりたい



チューン・ゴック・マイ

私の一番好きな科目は英語です。好きではない科目は国語です。趣味は絵を描くことです。将来の夢は画家になることです。私はスポーツが得意です。大きくなったら、有名な画家になりたいです。里親さま、私を支援してくださり、ありがとうございます。里親さまのご支援で、私

が学校に行くために十分な費用を得ることができます。そして本を買ったり、学用品を買ったりすることができます。

里親さまがご健康で、美しく、長生きなさるようにお祈りします。

### 努力して通訳に



ファム・ティ・チャム・アイン

父は亡くなりました。母一人が苦勞して働いています。それを見てるので、私は小さいときから、手にすることができたお金をとても大切にしています。このような境遇だからこそ、母の苦勞を軽くするために、頑張る勉強して収入が安定した仕事に就くという目的を持ちました。私は怖がりな性格です。授業の後、いつも家事をして母の手伝いをします。それから、復習をします。時間があったら、リラックスのために蚤や Hazy moon のような曲を聴きます。私は猫が好きです。猫はかわいいし、あまり食費がかかりません。嫌いなものは特にありません。というのは、何にでもいい面と良くない面があって、嫌ったら何も変えることができません。

私はいつも一つの夢を持っています。それは、通訳になることです。これが一番かなえたい夢です。そのために頑張っています。自分ももっと努力すれば成功すると信じています。今日、里親さまからの奨学金を頂きました。私はとても感謝しています。将来が良くなるように、さまざまな困難を乗り越えて夢を追いかける力を与えてくださってありがと

うございます。支援して下さる里親さま、先生方、母を裏切らず、自分の夢を追い、実現するために真面目に、頑張ってお勉強を続けます。終わりに、里親さまと青葉奨学会とベトナム子ども基金の皆さんに心からのお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

### 読解力を身につけたい

ドー・ハイ・フォン

里親さま、私を支援してくださって、ありがとうございます。私は今年9歳です。科目の中で得意なのは算数と英語です。一番好きなのは、算数と英語と理科です。地理と国語が嫌いです。私は医者になりたいです。趣味はサッカーです。健康になれるからです。2人の親友が何かわからないことがあるとき、私は急いで行って手伝います。

私は、里親さまがすごく元気で健康で、お仕事がうまくいくようにお祈りします。

### 好きな科目は国語

タック・ミン・ファット

青葉奨学金を頂けるとい知らせを聞いたとき、私の心はとてもうれしかったです。

私の親のふるさと、キエンザン省でとても遠いです。今はここ、ドゥックホア郡フーティン村第2村落に来て住んでいます。そして、小

学校に入りました。学校では先生が教えてくれるのをまじめに一生懸命聞いて、学年末には良い結果を出します。勉強の中で一番好きな科目は国語(読む)です。新聞を読んだり、祖母に小説を読んで聞かせたりすることができるからです。

父は、母と私を捨てました。母は日雇いをして私を育てています。生活は大変ですが、母と私は楽しいし、幸せです。

里親さま、ありがとうございます。里親さまが生活でたくさん成功することをお祈りします。

### 境遇に負けずに勉強を続けます

チューン・ティ・ゴック・ハー

私は、貧困家庭に分類されている家庭の子どもです。父は重い病気で亡くなりました。今は、母と妹と生活しています。母一人が、私と妹を学校へ通わせるために働いています。母は、家族のために父親の役割もしています。私は本当に母を誇りに思います。2017年、村などの支援で、風や雨の日に雨漏りがする草葉ぶきの家をレンガの家にしていただけました。しかし、新型コロナ感染症流行のため、母は会社を辞めました。今は日雇いだけで、誰かに呼ばればその仕事をしています。経済的にもっと困難になりました。母を見ていて、大変すぎるので、学校をやめて母を助けようと思いましたが、母は許しませんでした。

コロナ禍、私はオンライン授業でしたが、家にはWiFiがありません。3Gを使うのはとてもお金がかかり

ました。新型コロナ流行のせいで母は仕事ができませんでしたから、その期間本当に大変でした。家でオンラインで勉強するのは、学校で勉強するよりもずっと分かりにくく、その期間はとてもストレスを感じました。しかし、感染状況が落ち着いてから、対面授業で学校へ行けるようになり、かなりの長い時間の後、先生や友だちに会えてとてもうれしかったです。

今、私は最終学年の生徒です。継続して自分の夢を実現できるように、卒業試験のために頑張っています。私は、小さい子どもたちに教える教員になるのが夢です。けれど、今は母一人で働いていて、私が勉強を続ける費用を得るのは非常に困難だと思います。高校を卒業したら、私は勉強をやめ、母を助け、妹に学校を続けさせるために働きます。もし、卒業後に条件が合ったら、小さいときからの夢を実現するために勉強を続けます。

私が困難になるときに力を持てるように皆さんに支援していただけて、私はとてもうれしいです。困難な境遇ですが、私はいつも頑張ってお勉強します。それは、勉強することだけが、困難な境遇を抜け出す助けになるからです。青葉奨学金を頂けるとい知らせを受けたとき、私はとてもうれしく、感謝しました。みなさんの期待を裏切らないように、本当に頑張ってよく勉強します。

私を励まし、支援してくださってありがとうございます。この奨学会がもっと発展し、困難な学生たちが生きる力を持てるように、いつも共にいてくださることを願っています。

本当にありがとうございます。

## 事務局から

### ◆ ご入金報告 ご支援ありがとうございます (五十音順・敬称略)

### ◆ 里子訪問について

コロナの影響で長い間できなかった里子訪問が、再びできるようになりました。9月の新学年度が始まったら、ぜひ里子を励ましにお出かけください。留意事項は下記の通りです。

- ベトナムの交通事情を考え、丸一日ご予約ください。訪問日に他の用事を入れず、ゆったりとした気持ちで里子に会ってください。
- 飛行機や宿泊は、ご自身でお手配ください。
- 現地通訳は、ドンズー日本語学校の関係者が、ボランティアで手伝ってくださいます (プロの通訳が必要な場合はご連絡ください。費用がかかります)。
- 里子訪問にかかる費用は、車代や食事代です。希望日をお早めにベトナム子ども基金事務局までご連絡ください (ご希望に添えない場合もございます)。
- 新型コロナウイルスの感染症には、引き続き十分にお気をつけください。

### ◆ ベトナム子ども基金を応援してくれているサイトです。

#### Junijuni 東京ガス

Junijuniでお買い物をしてくださったときに、代金の一部を、ベトナム子ども基金に寄付できます。



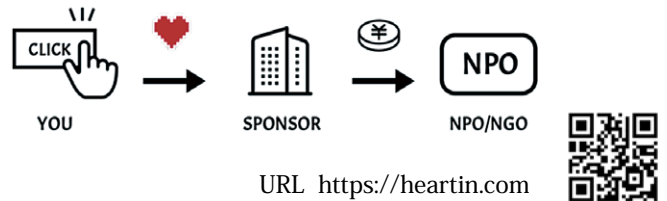
お手軽に買って、ちょっぴり社会貢献

賞味期限が近いなどの商品を  
お手軽に買って  
購入金額の一部を寄付

URL <https://www.junijuni.jp/>

#### クリック募金 株式会社 Wakka Inc.

毎日クリックするだけで、ベトナム子ども基金に募金できます。この募金は、ベトナムで事業を展開するIT企業 株式会社 Wakka Inc. の負担によるものです。クリックする方には1円の負担もかかりません。



### ◆ ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。

ご送金時の通信欄等に、お名前・ご住所・ご寄付である旨をお書き添えいただければ大変幸いです。

<口座名 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ): トクヒ) ベトナムコドモキキン>

- ・郵便振替 00100-6-546799
- ・ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキユウ店) 当座: 0546799